

在宅医療・介護連携推進専門委員会

(平成 29 年度)

在宅医療・介護連携推進専門委員会活動報告

広島県地域保健対策協議会 在宅医療・介護連携推進専門委員会

委員長 檜谷 義美

I. はじめに

本委員会は、平成 27 年度に設置し、関係団体が把握している在宅医療・介護連携における課題を把握し、市町が主体となって在宅医療・介護連携を推進するための方策（支援策、関係団体の役割など）について検討してきた。

平成 29 年度は、医療法第 30 条の 4 の規定による「第 7 次広島県保健医療計画」（計画期間：平成 30～35 年度）の検討を中心に協議した。

II. 開催状況

(1) 第 1 回委員会

①開催日 平成 29 年 7 月 5 日（水）

②協議事項

- ・第 6 次広島県保健医療計画の取組状況について
- ・第 7 次広島県保健医療計画の策定について
- ・「在宅医療・介護連携推進事業」の推進に向けた支援方策について

③検討状況

- ・第 6 次計画の取組状況、第 6 次計画で示した統計データ、在宅医療の医療体制構築に係る状況を共有した。
- ・第 7 次計画の策定に向けて、国の計画作成指針と広島県の現状、課題、現状把握のための指標例、各市町の在宅医療・介護連携推進事業の実施状況などが県から説明され、各委員から在宅医療についての課題や次期計画に盛り込むべき意見が示された。

(2) 第 2 回委員会

①開催日 平成 29 年 9 月 11 日（月）

②協議事項

- ・第 7 次広島県保健医療計画について

- ・在宅医療と介護等の連携体制について
- ・在宅医療の体制構築に係る圏域の設定について
- ・在宅医療に係る医療機能調査について
- ・次期保健医療計画に係る目標（指標）について

③検討状況

- ・在宅医療と介護等の連絡体制について、施策の方向性として、支援担当者を配置する病院の増加、県による市町支援、ACP の普及などが示され、計画素案とすることを確認した。
- ・圏域の設定について、市町単位での設定を基本方針とすることを確認した。
- ・医療機能調査の実施について、調査は必要最小限かつ回答しやすい形を望むことや、調査項目や結果公表のあり方は慎重に検討すべきとの意見があり、本委員会内に実務者会議を設置して、調査項目を設定することとした。
- ・第 7 次計画における指標について、県民の満足度を図るため、在宅看取り数を指標とするが、現状値を図る方法がないため、医療機能調査を実施することが示された。

(3) 実務者会議

①開催日 平成 29 年 10 月 25 日（水）

②協議事項

- ・在宅医療に係る医療機関等に求められる医療機能について
- ・医療機能調査票について

③検討状況

- ・第 7 次計画策定に向け、在宅医療に係る医療機関等に求められる医療機能について協議した。
- ・入院医療機関及び在宅医療に係る機関（病院・診療所、歯科医療機関、薬局、訪問看護

事業所)における医療機能(退院支援, 日常の療養支援, 急変時の対応, 看取り), 在宅医療において積極的役割を担う医療機関及び在宅医療に必要な連携を担う拠点に求められる事項について, 委員から事前に提出された意見を踏まえて協議した。

- ・病院・診療所の看取りでは, エンゼルケアやグリーフケアの実施について医療機能から削除すること, 訪問歯科診療や訪問薬剤管理指導等の実施回数を報告事項とすること, 調査票に主たる診療科を記載することなどの意見があった。
- ・委員の意見を踏まえて, あらためて医療機能を整理し, 第3回委員会で報告することとなった。

(4) 第3回委員会

①開催日 平成29年11月8日(水)

②協議事項

- ・在宅医療に求められる医療機能及び医療機能調査票について
- ・ACP普及促進WGの検討状況について
- ・第7次広島県保健医療計画及び第7期ひろしま高齢者プランに係る目標値について
- ・第7次広島県保健医療計画及び第7期ひろしま高齢者プランの素案(在宅医療)について

③検討状況

- ・各医療機能を担う医療機関等を調査するため, 求められる医療機能の項目及び調査票について, 了解を得た。
- ・ACP普及促進WGの検討状況や調査結果, 今後の展望について報告があり, 外来患者へのACPの呼びかけや訪問看護師のスキルアップに取り組む意欲, 救急現場での活動円滑化など, ACPの普及促進に期待する声が寄せられた。
- ・第7次計画等の目標値及び素案について, よりスムーズな在宅医療提供のためには医療・介護関係者が理解を深める必要があり, 学ぶ環境整備も必要であることや, 家族の介護力減少を踏まえて在宅医療を維持するために, 地域包括ケア体制の整備が重要であるとの意見があった。これらの意見を踏まえて, 第7次計画等を策定することとなった。

Ⅲ. お わ り に

第7次広島県保健医療計画等の取組が進展するよう, 多職種連携, 病診連携により, 退院支援から看取りまで切れ目のない在宅医療提供体制や, 包括的かつ継続的に, 在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築を引き続き検討する。

広島県地域保健対策協議会 在宅医療・介護連携推進専門委員会

委員長	檜谷 義美	広島県医師会
委員	荒谷 恭史	広島県歯科医師会
	有村 健二	広島県薬剤師会
	池田 円	広島県老人福祉施設連盟
	上本 和則	呉市福祉保健部福祉保険課
	大村 泰	呉市医師会
	大本 崇	広島県医師会
	荻原 和宏	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
	加賀谷哲郎	広島市健康福祉局保健部保健医療課
	加藤 啓介	福山市保健福祉局長寿社会応援部高齢者支援課
	久保 富嗣	広島市消防局警防部救急担当部
	小山 峰志	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会
	佐久間美保子	広島県看護協会
	佐々木真哉	広島県健康福祉局がん対策課
	武田 直也	広島県健康福祉局地域包括ケア推進部
	近末 文彦	広島県保健所長会
	近村美由紀	広島県訪問看護ステーション協議会
	東條 環樹	北広島町雄鹿原診療所
	長崎孝太郎	広島県病院協会
	楠部 滋	東広島地区医師会
	畑野 栄治	広島県老人保健施設協議会
	藤田 義久	広島県介護支援専門員協会
	藤田 善久	広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課
	本家 好文	広島県緩和ケア支援センター
	松本 正俊	広島大学医学部地域医療システム学講座
	丸山 典良	福山市医師会
	明海 国賢	広島県耳鼻咽喉科医会
	村上 重紀	広島県リハビリテーション支援センター
	吉中 建	広島県慢性期医療協会
	渡邊 洋征	広島県地域包括ケア推進センター